

西部3Rステーションでは体験コーナーや各種講座を開催しております。福岡市内にお住まいの方なら、どなたでもご参加いただけます。身近な3Rを体験してみませんか？

生ごみ堆肥化事業

菜園講座冬野菜の作り方

日時/9月11日(土) 14:00~16:00
 場所/福岡市西部汚水処理場内(西区今津5371)
 定員/20名(先着)
 参加費/無料
 応募締切/9月2日(木)必着
 持ってくるもの/筆記用具

3R物作り教室

古布でぞうり作り

日時/9月18日(土) 13:00~16:00
 場所/2階研修室
 定員/15名(抽選)
 参加費/100円
 応募締切/9月9日(木)必着
 持ってくるもの/幅7cmに裂いて包帯状に巻いた布30m以上



応募方法

ハガキかFAXに①希望講座②住所③氏名④年齢⑤電話番号を明記のうえ、ご応募ください。
 〒819-0162 福岡市西区今宿青木1043-2
 Fax 092-882-4580

・定期開催中！

体験コーナー

廃食用油でハーブ石けん作り

日時/毎週水曜日 10:30~11:30
 場所/1階リサイクル工房
 参加費/無料
 定員/10名(先着順)
 申込方法/電話



紙すきしおり作り

日時/毎週日曜日 10:30~11:30
 場所/2階多目的ホール
 参加費/無料
 定員/10名(先着順)
 申込方法/電話



生ごみ堆肥相談会

生ごみ堆肥化で困ったことがありましたら何でも相談ください

場所/2階環境学習室
 参加費/無料
 事前申込/不要

●西部環境サポーター倶楽部主催

日時/毎週土曜日 13:00~16:30

●循環生活研究所主催

日時/毎月第2金曜日 10:30~14:00

ダンボールコンポスト講習会

ダンボールコンポストを始めたいという方、ご参加ください！

●西部環境サポーター倶楽部主催

日時/毎月第4土曜日 10:30~11:30

場所/2階環境学習室
 参加費/500円(基材・テキスト代込み)
 事前申込/不要

2010.9月号
 Vol.54

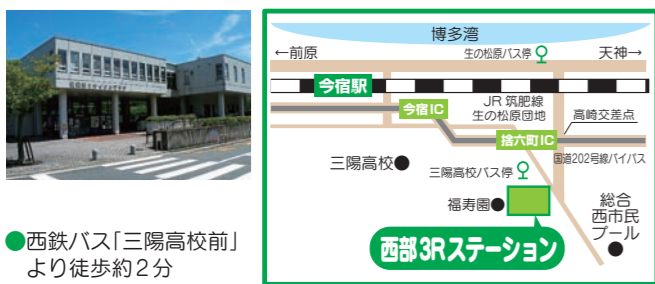
くるくる便利



福岡市西部3Rステーションは、環境学習や環境活動の場、福岡市のごみ減量や3Rに関する情報発信の場として、「循環のまち・ふくおか」の一翼を担う施設です。今、地球温暖化やごみ問題など様々な環境問題が起きています。「環境にやさしい循環型社会」を作るため、私たち一人ひとりが自分たちの生活の中で、できることから取り組みを進めていくことが大切です。みなさんも、自分にできることを見つけてみませんか？

西部3Rステーションと天空

西部3Rステーション



●西鉄バス「三陽高校前」より徒歩約2分

開館時間: 10:00~17:00
 休館日: 月曜日(祝日の場合は開館し、次の平日休館) 年末年始(12月28日~1月3日)
 住所: 福岡市西区今宿青木1043-2(クリーンパーク西部内)
 TEL: 092-882-3190 FAX: 092-882-4580

ミニ3Rステーション



●西鉄バス「麦野四丁目」より徒歩約8分
 ●西鉄天神大牟田線「雑餉隈駅」より徒歩約12分

開館時間: 10:00~17:00
 休館日: 月曜日(祝日の場合は開館し、次の平日休館) 年末年始(12月28日~1月3日)
 住所: 福岡市博多区三筑2-9
 TEL: 092-585-0598 FAX: 092-585-5435

ウェブサイト

福岡市西部3Rステーション 検索

URL <http://www.fukuoka-seibuplaza.com>

西部・ミニ3Rステーションのイベント情報やウェブサイト限定の家具抽選会や不用品の交換など、くらしに役立つごみ減量・3R情報が満載です！(一部ユーザー登録が必要なものもあります)

モバイルサイト

QRコードで簡単アクセス!

URL <http://www.at-ml.jp/?in=55086>

会員登録を済ませたメール会員の方へ西部・ミニ3Rステーションのおススメニュースや最新情報を携帯電話のEメールで、お知らせします。



めざせ！循環型社会

番外編



其二 江戸時代のりサイクル事例①

紙くず買い・紙くず拾い

今回は、江戸時代「世界で最も美しい町」と言われていた江戸のりサイクル事例をご紹介します。当時、紙はどのようにリサイクルされていたのでしょうか。現在でも古紙の回収業はありますが、江戸時代にも使った後の紙くずを買ったり、拾ったりする「紙くず買い」や「紙くず拾い」という仕事がありました。「紙くず買い」とは不用になった帳簿などの紙製品を購入し、古紙問屋に売る人のことを言います。また、「紙くず拾い」とは町中を歩き回って集めた紙くずを古紙問屋に売る人のことを言います。こうして古紙問屋に集められた古紙や紙くずは溶かして、新しい紙としてリサイクルされていました。現代と同じ方法ですね。しかし当時は、今日のように墨などを抜く技術がなかったため、再生された紙は墨が混じったねずみ色の紙でした。このねずみ色の紙は江戸で「浅草紙」と呼ばれており、今で言うところのトイレトペーパーとして使われていました。このように、今日では安価で当たり前のように出回っている紙ですが、当時は落ちていた紙までを再生していたということから大変貴重なものだったということが分かります。江戸時代の人々の「紙一枚でも無駄にしない、使えるまで使う」という習慣や意識を見習い、私たち一枚の紙から大切に使用していきたいものです。

(参考文献「大江戸リサイクル事情」環境goo Web 講義 <http://eco.goo.ne.jp> (平成22年8月1日現在))

3R推進のまちづくり推進事業



この印刷物は自然環境保護のために再生紙を使用し、大豆油インキで印刷しています。

地球のためにできることから始めましょう！ イベント情報

祝日フリーマーケット

西部3Rステーションでは、ごみ減量・リユースの啓発イベントとして、年に5回、祝日にフリーマーケットを開催しています。今回の開催は下記のとおりです。

家庭で不用になった衣類・日用品など色々なものが持ち寄られます。掘り出し物を見つけませんか？

■日時／平成22年9月23日（木・祝）

10:00~15:00

■会場／西部3Rステーション1階ピロティ

■区画数／16区画

※屋外会場のため、荒天中止

出店者募集！

対象／福岡市内在住の20歳以上で販売を生業としていない方

出店料／無料

応募締切／9月14日（火）必着

応募方法／往復はがきの往信に「9月23日フリーマーケット出店希望」と書き、①住所②氏名③年齢④電話番号を明記のうえ、西部3Rステーションまでお申込ください

※お一人様1通のご応募をお願いします。



挑戦！エコクイズ

知ってそうで知らなかった、環境についての色々なことを考えてみましょう。気づかなかったことに気づくかも！

問題

以下のマークのなかで、環境に関連するマークでないものはどれでしょう？



みなさん、分かりましたか？

正解は・・・⑤です。⑤は博物館の地図記号です。では順にマークの意味を説明していききたいと思います。

①と②は環境に配慮して作られた製品に付けられるマークです。①は「PCグリーンラベル」と言い、環境に配慮した設計・製造がされていて、リユースやリサイクルもできるパソコンに付けられるマークです。

②は「エコマーク」です。身近にある商品で生産から廃棄にわたるライフサイクル全体を通して環境負荷が少ないなど、環境保全に役立つと認められる商品に付けられるマークです。

③はペットボトルをリサイクルした商品に付けられるマークです。

①②③のマークが付いた商品を選ぶことで、環

境への負荷を減らすことができます。お店で買い物をする時には、参考にしてください。

④は「ペットボトル」のマークで、消費者が素材を見分けるために付けられるマークです。PET製の清涼飲料水や酒類容器、醤油容器、乳飲料容器についてのみ、表示が義務付けられています。

⑥はダンボール製容器包装に付けられるマークで、リサイクルを促す目的で付けられたマークです。

④⑥のマークが付いた商品を使い終わった後は、リサイクルしましょう。

このように、マークの意味を知っていると買い物をするときや捨てる時など、日常生活の中で環境への負荷を減らすことができます。これら以外にも色々なマークがあるので、是非みなさんも確認してみてください。

熱血！ボランティア活動

今月のボランティアさん

エコファイブのみなさんにインタビュー

Q1 団体の紹介をお願いします

A：現在8名で活動をしています。主な活動内容は、地域で出張ワークショップを行い、古新聞を使ったエコバッグの作り方を教えています。現在ではその種類も丸型、トートバッグ型、レギュラー型（縦）の3パターンに増えました！その他、古新聞のコサージュ作り教室も行っています。

また、活動拠点は西部3Rステーションに置き、月に一回の定例会で活動内容についての話し合いを行っています。

Q2 なぜこの活動を始めようと思ったのですか？

A：レジ袋を削減したい！何とかしたい！という気持ちから、エコバッグ作りを始めようと思いました。古新聞にした理由は、その頃が古新聞のエコバッグ作りが始めであったことに加え、新聞はとても身近でどこにでもあり、誰でもすぐに始めることができると思い、新聞でエコバッグを作ろうと思いました。

Q3 活動にやりがいを感じる時はどんな時ですか？

A：人とつながりができた時です。実際に古新聞のエコバッグ作りを体験した方から「古新聞エコバッグがずっと作ってみたいです。出会えてよかったです！私も作り方を覚えて周りの人に教えたいです。」と言われた時は、本当に嬉しかったです。また、体験していただいた方から喜んでもらえる姿を見ると、とても嬉しいです。みなさんの嬉しそうなお顔を見ると疲れが吹っ飛びます！

Q4 活動において大切にしていることは何ですか？

A：「できる人が、できる時に、できることをやろう！」です。メンバーは合い言葉のように口にしています。この言葉を聞くとみんなの心がほっとして、無理なく楽しく活動しよう！という気持ちになります。そのせいか、活動が楽しく、メンバー同士とても仲が良いです。

Q5 今後の目標を教えてください

A：年に一種類ずつ作品を増やしていきたいです。さらに、エコファイブのオリジナルの作品ができればいいと思っています。

Q6 最後にくるくる便りをご覧の方へメッセージをお願いします

A：一緒に活動しませんか？興味のある方はどなたでも結構です。お待ちしております。



お知らせ

新聞エコバッグ作り、新聞コサージュ作りの出張、出前講座を致します。

エコファイブの方々とお話しして・・・

エコファイブのみなさんには、平成22年1月に西部3Rステーションのブログでご紹介させていただいた時に取材をさせていただきました。その時は団体を立ち上げて一年も経っておらず、これからの活動内容を検討中という段階で、緊張した面持ちのように思えましたが、今回取材をさせていただいてエコファイブのみなさんの、以前に増してとてもキラキラと輝く笑顔とやる気に満ちあふれた表情を拝見することができました。作品も増え、たくさんのイベントに参加して、たくさんの人と出会い、新聞マイバッグ作りの広がりを実感した達成感や活動の充実感が伝わってきました。

メンバーの吉田さんは、常にエコファイブのことを考えていらっしゃるようで、何かできることはないかといつもアンテナを張っているそうです。また、楽しいお話やたくさんの冗談も交えながら、笑いでいっぱいのお話の皆さんにたくさんの元気をいただきました。

今後とも一層楽しくエコファイブらしく、元気に活躍の幅を広げていただきたいと思います。

受講者募集！

衣類のリフォーム教室

西部3Rステーションでは、家庭で着なくなった着物や洋服を利用したリフォーム教室を開催しています。「水曜コース」と「木曜コース」を設けており、それぞれ全12回の連続講座で、今回は平成22年度第3期受講者を募集します。

いろいろな作品作りを通して、衣類の有効な利用方法を学ぶことができます。みなさんのご応募をお待ちしております！



申込方法

ハガキまたはFAXに「衣類のリフォーム教室（水曜または木曜）コース希望」と記入し、①住所②氏名③年齢④電話番号を明記のうえ、西部3Rステーションまでお申し込みください。なお、応募多数の場合は抽選になります。

日時／平成22年10月～12月の毎週水曜もしくは木曜日 13時～16時【全12回】

定員／各10名（応募多数の場合抽選）

材料費／300円

申込締切／9月28日（火）必着

持参物／裁縫道具・古布など

